

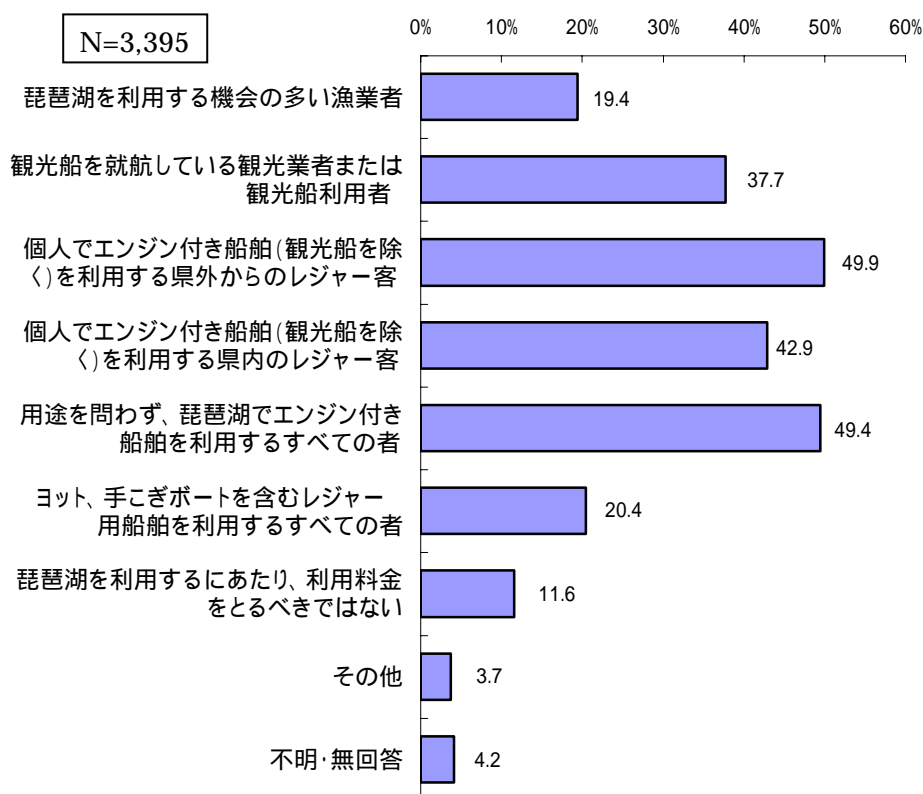
3 . 琵琶湖のレジャー利用

(1) 琵琶湖利用料金制度

問 11 琵琶湖の環境保全に役立てるため、琵琶湖を利用する方から一定の利用料金をとるべきであるという意見がありますが、利用料金制度を設けた場合に、実際に誰がその費用を負担することがふさわしいと思いますか。(はいくつでも)

琵琶湖利用料金を設けた際の負担者としてふさわしいのは、「個人でエンジン付き船舶(観光船を除く)を利用する県内のレジャー客」と「用途を問わず、琵琶湖でエンジン付きの船舶を利用するすべての者」の回答が約5割

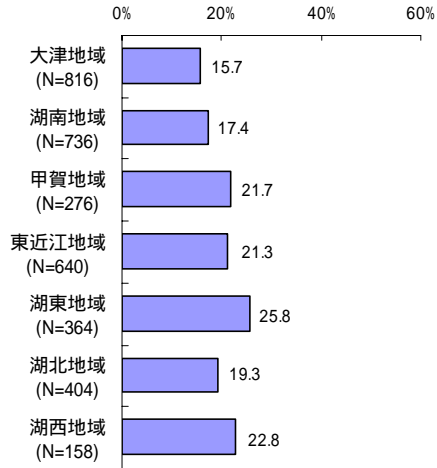
琵琶湖利用料金制度を設けた場合の負担者としてふさわしい者は、「個人でエンジン付き船舶(観光船を除く)を利用する県外のレジャー客」が最も多く49.9%、次いで僅差で「用途を問わず、琵琶湖でエンジン付き船舶を利用するすべての者」が49.4%、「個人でエンジン付き船舶(観光船を除く)を利用する県内のレジャー客」が42.9%と続いている。



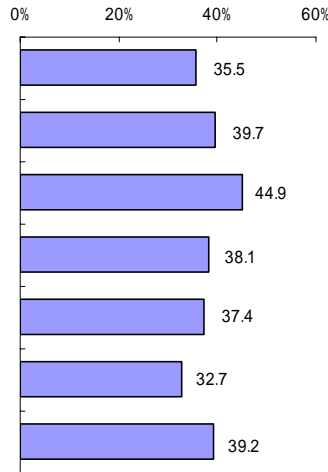
【地域別】

「個人でエンジン付き船舶(観光船を除く)を利用する県外からのレジャー客」が最も多いのは大津・東近江・湖北・湖西地域で、湖南・甲賀・湖東地域では「用途を問わず、琵琶湖でエンジン付き船舶を利用するすべての者」が最も多くなっている。

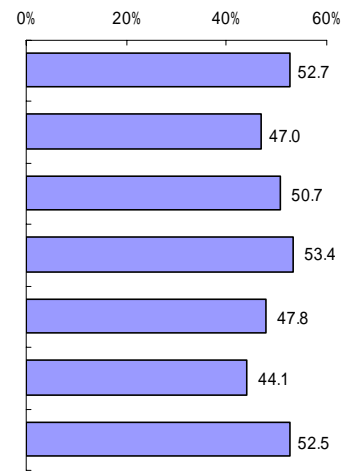
琵琶湖を利用する機会
の多い漁業者



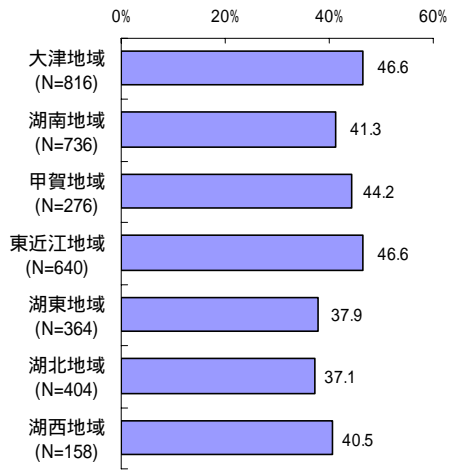
観光船を就航している観光
業者または観光船利用者



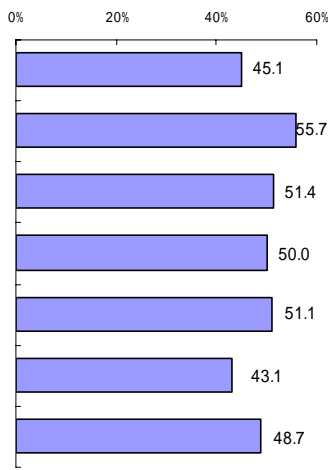
個人でエンジン付き船舶(観
光船を除く)を利用する県外
からのレジャー客



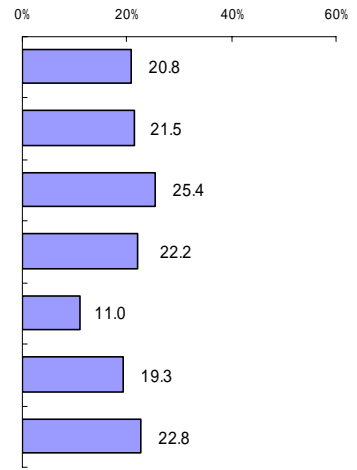
個人でエンジン付き船舶(観光船を
除く)を利用する県内のレジャー客



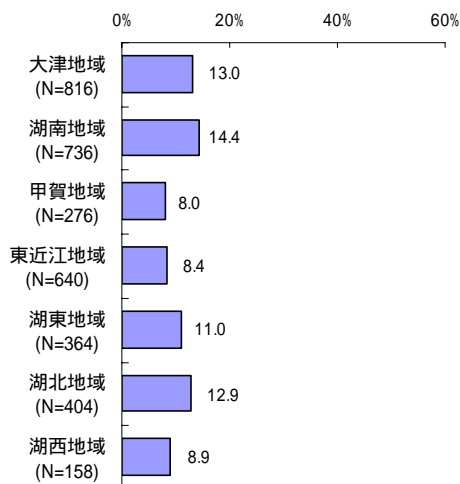
用途を問わず、琵琶湖でエ
ンジン付き船舶を利用する
すべての者



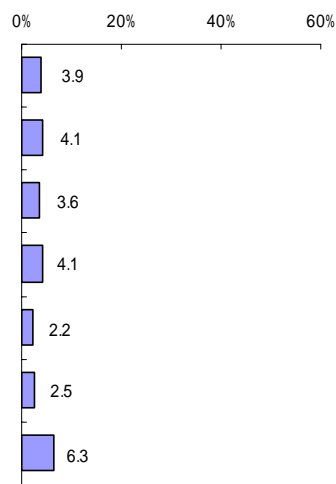
ヨット、手こぎボートを含むレ
ジャー用船舶を利用するすべ
ての者



琵琶湖を利用するにあたり、
利用料金をとるべきではない

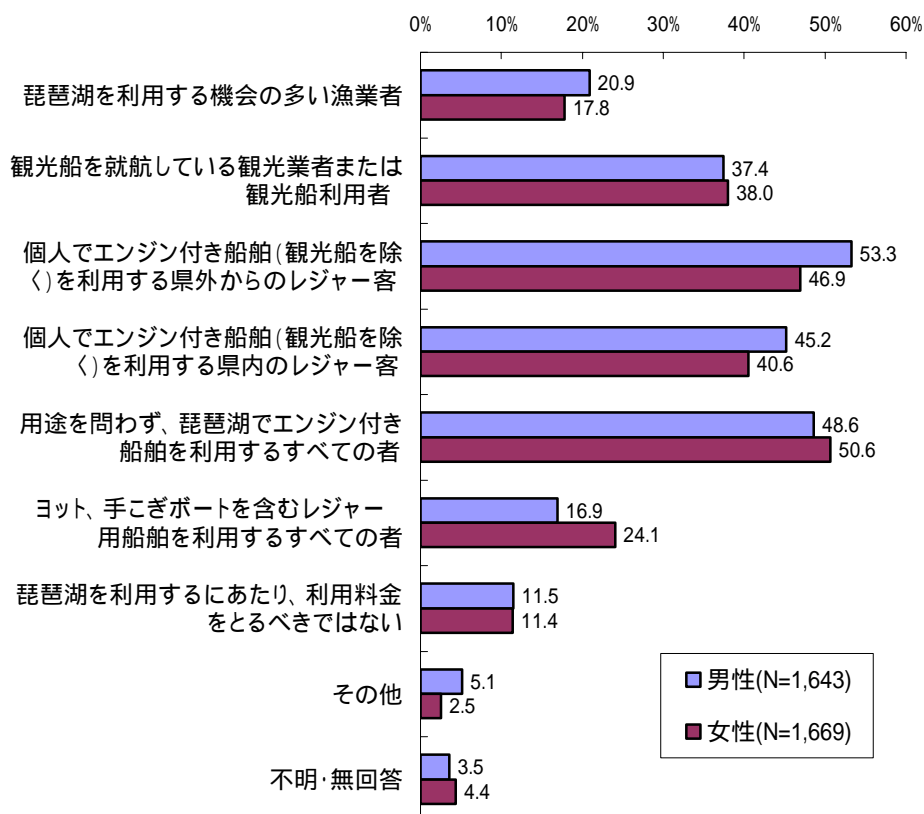


その他



【性別】

男性では「個人でエンジン付き船舶(観光船を除く)を利用する県外からのレジャー客」(53.3%)、女性では「用途を問わず、琵琶湖でエンジン付き船舶を利用するすべての者」(50.6%)が最も多い。



【性・年代別】

男性の40歳代を除くすべての年代と女性の40歳代では、「個人でエンジン付き船舶(観光船を除く)を利用する県外からのレジャー客」が、女性での40歳代を除くすべての年代で「用途を問わず、琵琶湖でエンジン付き船舶を利用するすべての者」が最も多くなっている。

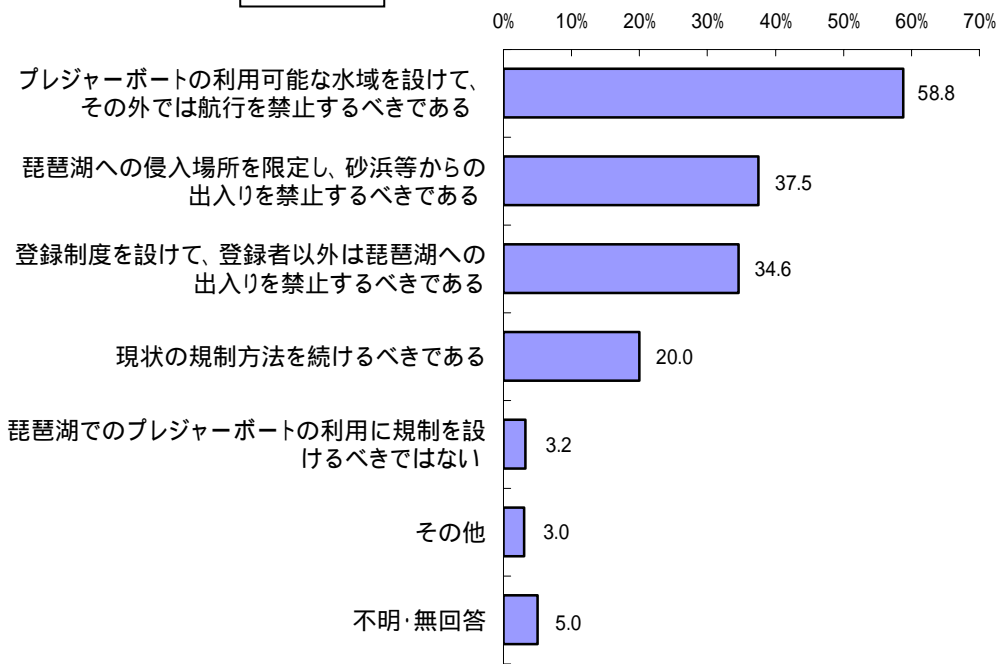
(2) プレジャーボートの利用に対する制限

問 12 現在、県では琵琶湖に航行規制水域を設けて、プレジャーボート(水上バイク、バスボート、モーターボート等)の航行を原則として禁止しています。プレジャーボートの利用に対し、さらに制限を設けるべきであるという意見がありますが、あなたはどのようにお考えですか。(はいいくつでも)

琵琶湖の航行規制水域について、58.8%が「プレジャーボートの利用可能な水域を設けて、その外では航行を禁止するべきである」と回答

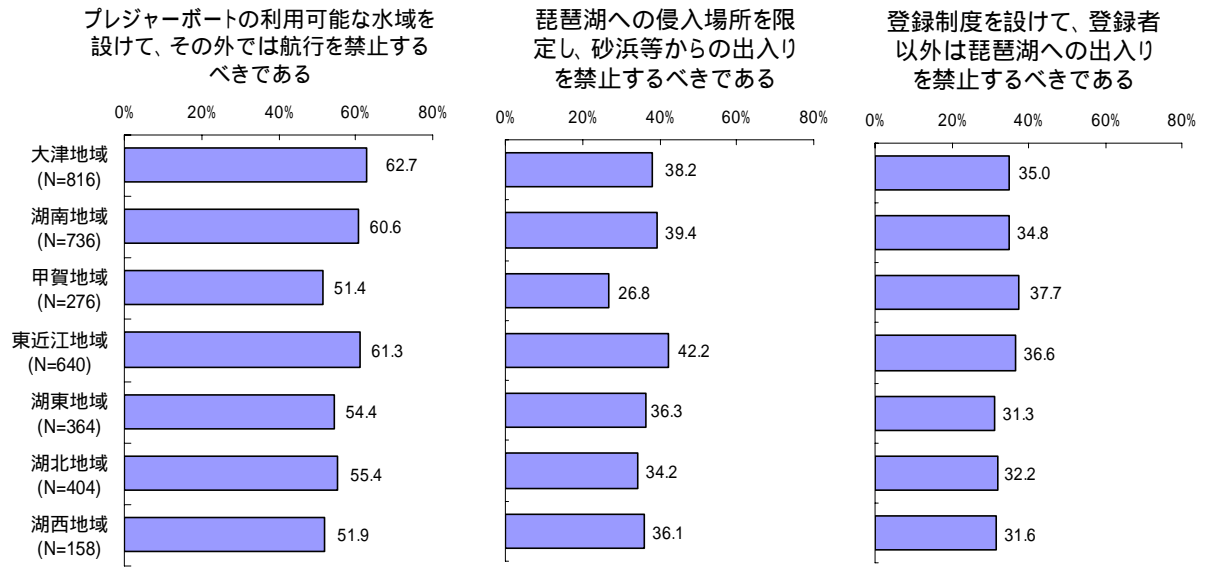
「プレジャーボートの利用可能な水域を設けて、その外では航行を禁止するべきである」が最も多く58.8%、次いで「琵琶湖への侵入場所を限定し、砂浜等からの出入りを禁止するべきである」が37.5%、「登録制度を設けて、登録者以外は琵琶湖への出入りを禁止するべきである」が34.6%となっている。

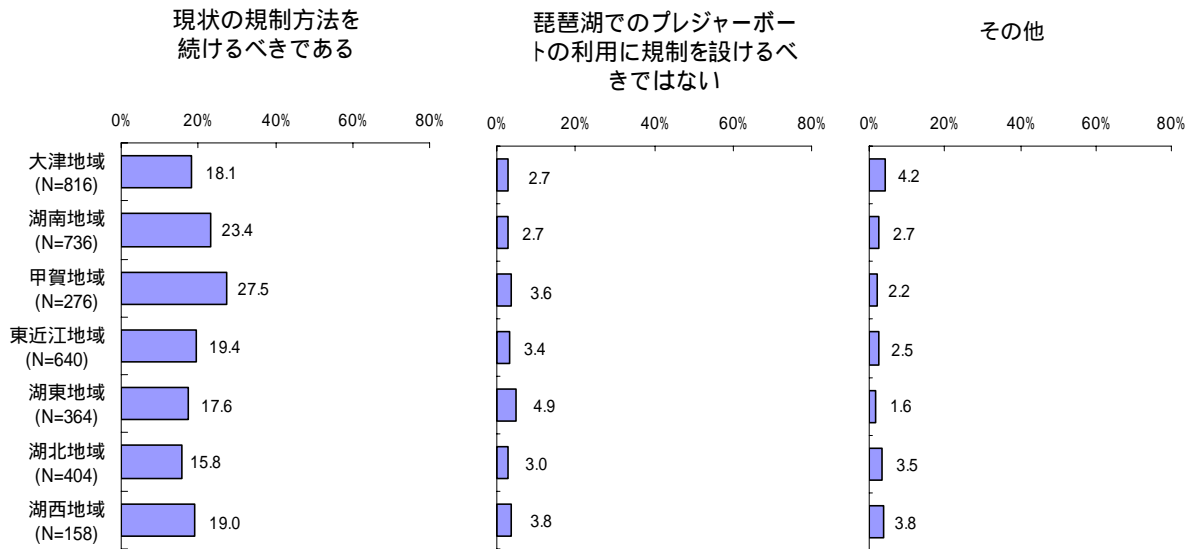
N=3,395



【地域別】

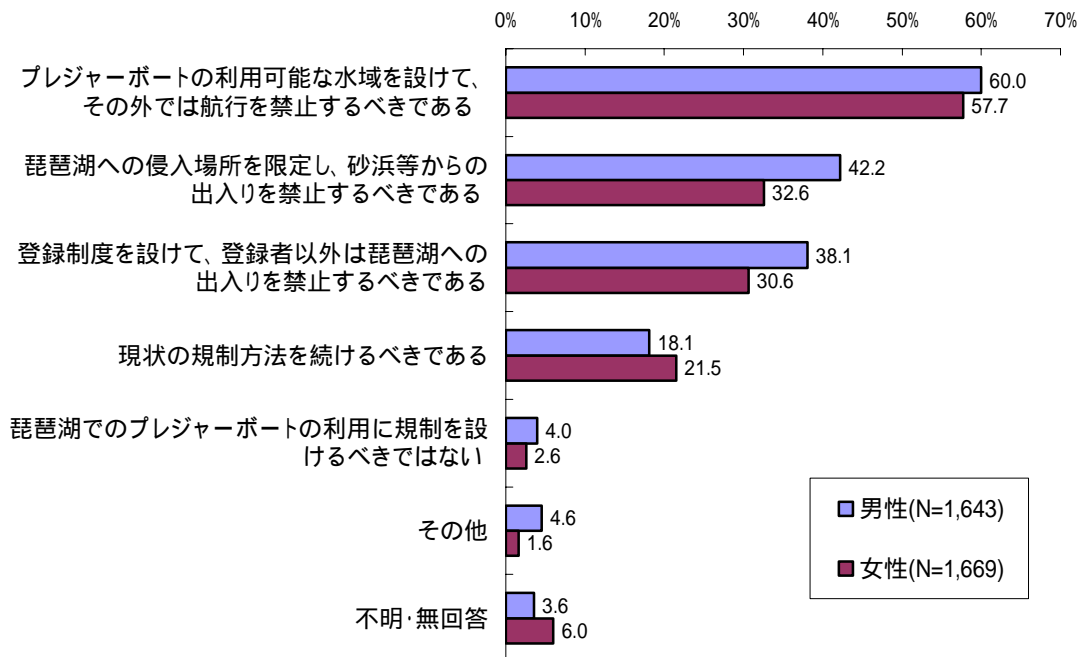
いずれの地域においても「プレジャーボートの利用可能な水域を設けて、その外では航行を禁止するべきである」が最も多くなっている。甲賀地域は「琵琶湖への侵入場所を限定し、砂浜等からの出入りを禁止するべきである」が最も少ない一方で、「現状の規制方法を続けるべきである」が多くなっている。





【性別】

男女ともに「プレジャーボートの利用可能な水域を設けて、その外では航行を禁止するべきである」が約6割と最も多い。男性は「登録制度を設けて、登録者以外は琵琶湖への出入りを禁止するべきである」が女性より7.5ポイント高く、「現状の規制方法を続けるべきである」は女性のほうが3.4ポイント高い。



【性・年代別】

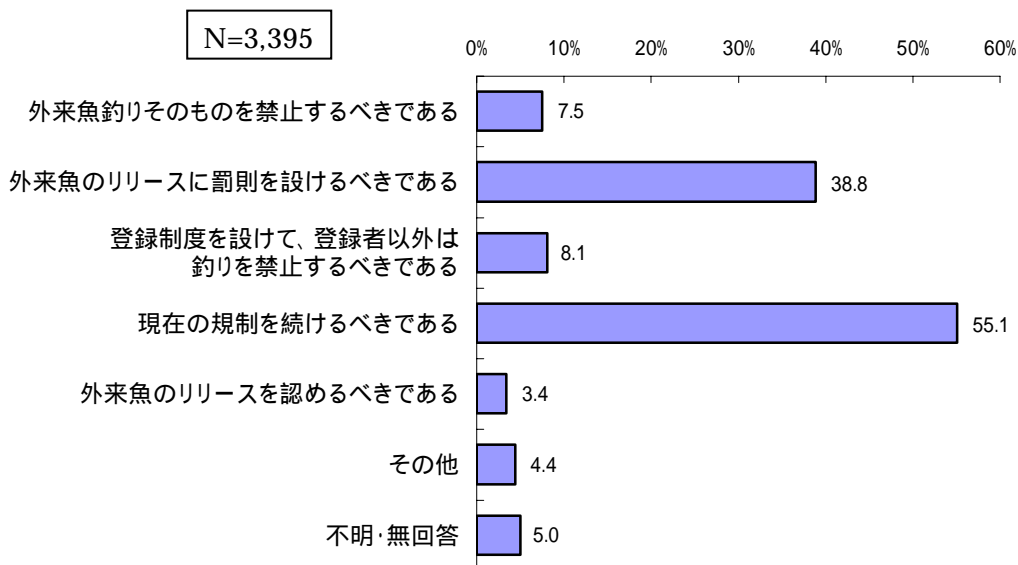
男女ともすべての年代において、「プレジャーボートの利用可能な水域を設けて、その外では航行を禁止するべきである」が最も多く、男性では50歳代の67.9%、女性では40歳代の62.2%が最も高くなっている。

(3) 琵琶湖での釣りに対する制限

問 13 現在、県では外来魚のリリース（釣り上げた魚を再放流すること）を禁止しています。琵琶湖での釣りについて、さらに制限を設けるべきであるという意見がありますが、あなたはごどう思いますか。（はいいくつでも）

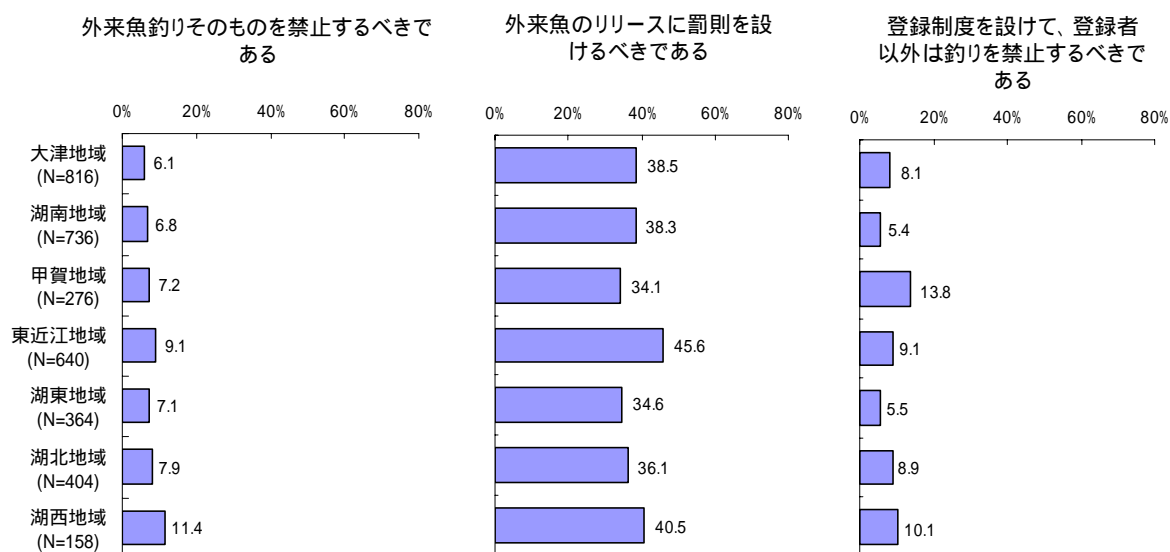
琵琶湖での釣りへの規制は「現在の規制を続けるべきである」が 55.1%

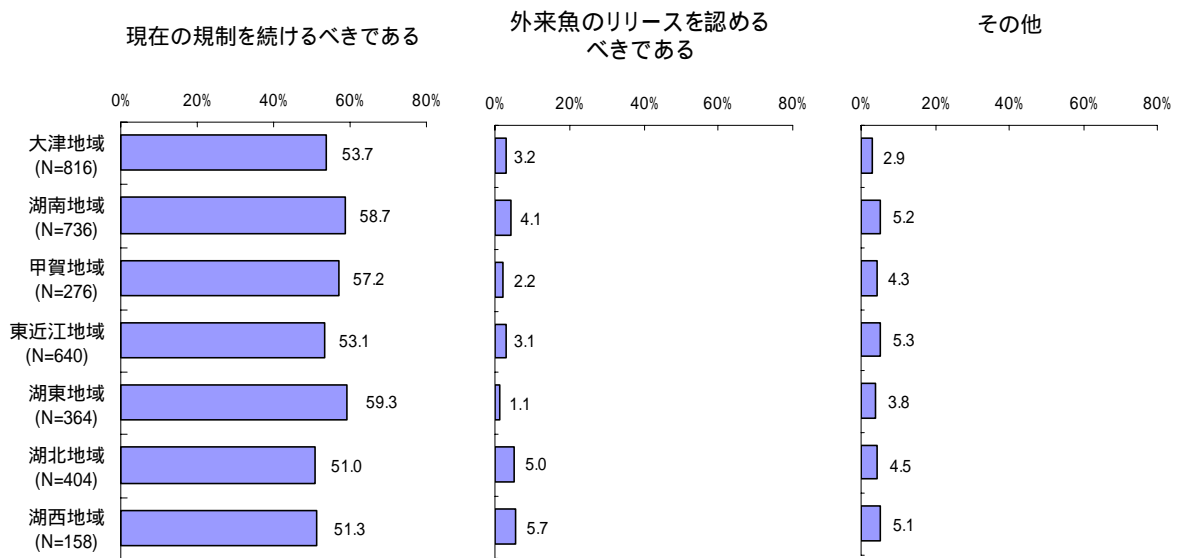
最も多かったのは「現在の規制を続けるべきである」で 55.1%、次いで「外来魚のリリースに罰則を設けるべきである」が 38.8%と続く。その他はいずれも 1 割未満である。



【地域別】

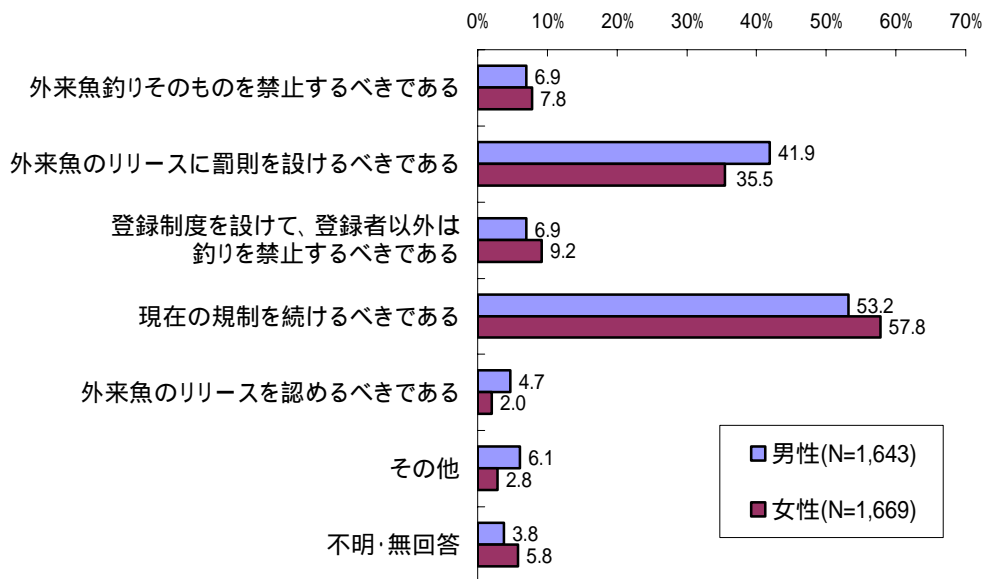
いずれの地域においても「現在の規制を続けるべきである」が 5 割を超えており、湖東地域が 59.3%と最も高く、次いで湖南地域の 58.7%となっている。東近江地域では、「外来魚のリリースに罰則を設けるべきである」が 45.6%で他の地域より高くなっている。





【性別】

男女ともに「現在の規制を続けるべきである」が最も多く、男性が53.2%、女性が57.8%となっており、女性のほうが4.6ポイント上回っている。次いで多い「外来魚のリリースに罰則を設けるべきである」では、男性(41.9%)が女性(35.5%)に比べ6.4ポイント高い。



【性・年代別】

男女ともすべての年代で「現在の規制を続けるべきである」が最も多く、男性では70歳以上の64.4%、女性では50歳代の62.9%が最も高くなっている。次いで、「外来魚のリリースに罰則を設けるべきである」が男女ともすべての年代で続いている。